# モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジなし）

# 運用報告書(全体版)

第５期（決算日2025年３月６日）

作成対象期間（2024年３月７日～2025年３月６日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 | |
| 信託期間 | 2020年２月28日以降、無期限とします。 | |
| 運用方針 | モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証書）を含みます。）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。<br>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。 | |
| 主な投資対象 | モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジなし） | マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 |
| | マザーファンド | 世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。 |
| 主な投資制限 | モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジなし） | 株式への実質投資割合には制限を設けません。<br>外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 |
| | マザーファンド | 株式への投資割合には制限を設けません。<br>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。 | |

**野村アセットマネジメント株式会社**
東京都江東区豊洲二丁目２番１号
●サポートダイヤル
**0120-753104**〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時
●ホームページ
**https://www.nomura-am.co.jp/**

## ○設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | （分配落） | 税込み分配金 | 期中騰落率 | | | |
| （設定日） | 円 | 円 | % | % | % | 百万円 |
| 2020年２月28日 | 10,000 | － | － | － | － | 2,412 |
| １期(2021年３月８日) | 12,081 | 160 | 22.4 | 97.1 | － | 10,804 |
| ２期(2022年３月７日) | 13,251 | 170 | 11.1 | 97.7 | － | 18,447 |
| ３期(2023年３月６日) | 14,092 | 190 | 7.8 | 96.1 | － | 18,785 |
| ４期(2024年３月６日) | 18,698 | 230 | 34.3 | 97.3 | － | 21,209 |
| ５期(2025年３月６日) | 20,458 | 250 | 10.7 | 96.0 | － | 20,440 |

＊基準価額の騰落率は分配金込み。
＊当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
＊当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | 株式組入比率 | 株式先物比率 |
|---|---|---|---|---|
| | | 騰落率 | | |
| （期　首） | 円 | % | % | % |
| 2024年３月６日 | 18,698 | － | 97.3 | － |
| ３月末 | 18,982 | 1.5 | 96.6 | － |
| ４月末 | 18,958 | 1.4 | 96.4 | － |
| ５月末 | 19,105 | 2.2 | 96.1 | － |
| ６月末 | 20,142 | 7.7 | 97.0 | － |
| ７月末 | 19,709 | 5.4 | 97.0 | － |
| ８月末 | 19,307 | 3.3 | 97.4 | － |
| ９月末 | 19,421 | 3.9 | 96.6 | － |
| 10月末 | 20,627 | 10.3 | 96.7 | － |
| 11月末 | 20,446 | 9.3 | 97.5 | － |
| 12月末 | 21,104 | 12.9 | 97.3 | － |
| 2025年１月末 | 21,484 | 14.9 | 97.7 | － |
| ２月末 | 20,509 | 9.7 | 96.8 | － |
| （期　末） | | | | |
| 2025年３月６日 | 20,708 | 10.7 | 96.0 | － |

＊期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
＊当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移

期　首：18,698円
期　末：20,458円（既払分配金（税込み）：250円）
騰落率：　10.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2024年３月６日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首18,698円から期末20,458円となりました。

（上昇）
・2024年11月、トランプ前大統領の再選により規制緩和によるM&A（企業の合併・買収）の活発化や減税の恒久化に対する期待や、財務長官に経済成長を重視するベッセント氏を指名したことが好感されたことなど。

（下落）
・2024年４月、FOMC（米連邦公開市場委員会）メンバーであるリッチモンド連銀のバーキン総裁がインフレ抑制に関して時間をかけて対応することが賢明だと述べたことにより早期の利下げ期待が後退したことや、中国当局が国内の主要通信事業者に対して外国製半導体の使用を段階的に排除するよう指示していたとの報道などが嫌気されたことなど。

**〇投資環境**

期中の世界株式市場は、インフレ動向や各国の金融政策の行方などに左右される展開となる中で、上昇しました。

為替市場では、円は米ドルに対して上昇（円高）、ユーロに対しても上昇（円高）となりました。

**〇当ファンドのポートフォリオ**

**[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド]**

**・株式組入比率**

期を通じておおむね高位を維持しました。

**・期中の主な動き**

（１）組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG※の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。

※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。

（２）ポートフォリオの構築にあたっては、時価総額および流動性が高い大型銘柄を中心とすることを基本とします。

（３）期中の主な売買としては、米国のデリバティブ取引所運営会社の株式などを新規に組み入れ、英国の家庭用品・医薬品メーカーの株式などを全売却しました。また、美容用品の製造・販売を手掛けるフランスの企業の株式などを買い増しし、カナダのソフトウエア持株会社の株式などを一部売却しました。

**[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジなし）]**

**・株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

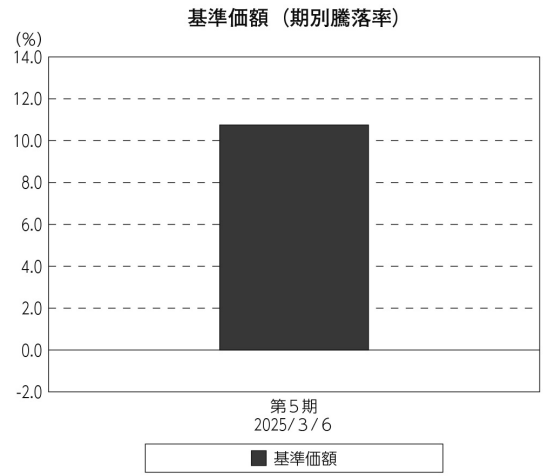
**・為替ヘッジ**

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。




（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

収益分配金については、基準価額水準などを勘案し、１万口当たり250円の収益分配を行ないました。

なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

| 項　　目 | 第５期<br>2024年３月７日～<br>2025年３月６日 |
|---|---|
| 当期分配金 | 250 |
| （対基準価額比率） | 1.207% |
| 当期の収益 | 250 |
| 当期の収益以外 | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 10,458 |

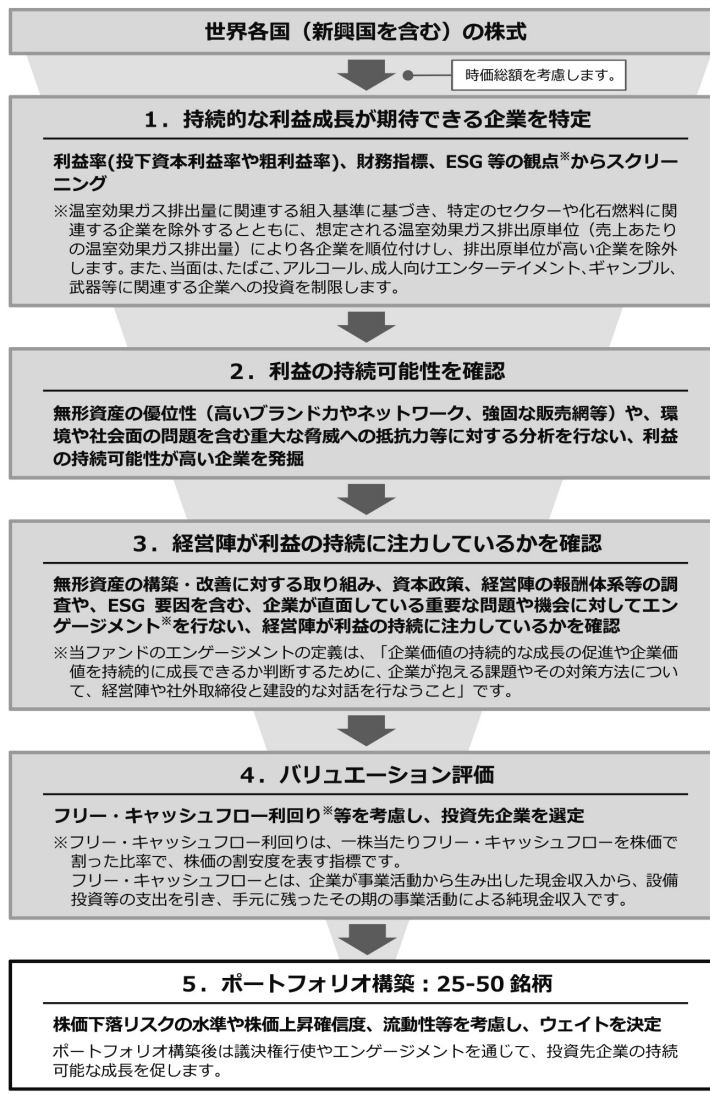
（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

# ◎（ご参考）マザーファンドのESG運用について

## ○運用プロセス図

当ファンドは下記のプロセスに基づいて運用されています。

■ポートフォリオ構築プロセス■




※上記のポートフォリオ構築プロセスは、今後変更となる場合があります。

## ○主要組入銘柄の解説とESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

組み入れ銘柄の紹介・解説になります。

☆マイクロソフト（米国）

①事業内容

マイクロソフト（Microsoft Corporation）はソフトウエア会社です。パソコンのOS（オペレーションシステム）で殆どのシェアを占めるWindows、ビジネス用ソフトウェアのOffice、クラウドプラットフォームのAzureなどが著名です。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

多くの企業が同社サービスを採用し、過去データを活用するためには同社のソフトウエアを使用し続ける必要があるため、業績が安定して成長しています。クラウド化の促進により、同サービスを利用する顧客のエネルギー使用・カーボン排出の削減に貢献している点や、2030年までのカーボン・ネガティブ（CO2の排出量を実質マイナスにすること）の実現、2050年までには1975年以降の排出量を解消する目標を掲げる点などを評価しています。

☆SAP（ドイツ）

①事業内容

SAP（SAP SE）はソフトウエア会社で、ERP（基幹業務の統合処理）システムで世界最大となります。クラウドで提供するERPを増やして収益性を高めている。他には経費精算ソフトウェアのコンカーなどを保有しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

ERP（基幹業務の統合処理）は維持管理が必要であり、乗り換えコストが高額になるため顧客が継続的に利用することから、安定的な収益をもたらすことを評価しています。データセンターの電力源を再生可能エネルギーで賄っており、またクラウド化の推進によって、顧客のコンピューター関連のエネルギー消費削減に貢献しています。加えて、業務および製品におけるCO2排出を顧客が理解して最小化することを、ERPサービスを通して支援している点も評価しています。

☆ビザ（米国）

①事業内容

ビザ（Visa Inc.）は世界最大のクレジットカード会社です。小売り電子決済ネットワークの運営、国際的な金融サービスの提供に従事しています。金融機関、販売業者、消費者、企業、政府機関などが相互に行なう決済ネットワークやデータ転送サービスを通じて、国際的な商取引を提供しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

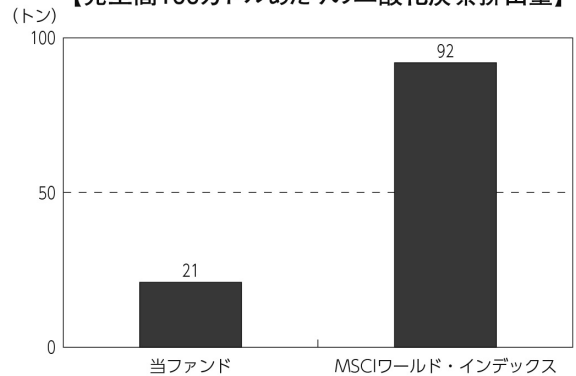
キャッシュレス化の恩恵を最も受ける企業の一つで、その流れはｅコマース（電子商取引）の拡大で加速しています。同社はデータセキュリティ対策に尽力しており、サイバーセキュリティにおいては同業他社対比で最高の評価を獲得しています。また、同社の技術とグローバルなネットワークを利用して、〝アクセス可能で革新的な金融教育のためのリソース〟を無料で提供する〝金融リテラシープログラム〟を展開していることなども評価しています。

## ○当ファンドにおけるサステナブル投資

①世界株式と比較した当ファンドの二酸化炭素排出量

2024年12月末時点、ポートフォリオにおける二酸化炭素排出量の平均値は、世界の株式市場全体（MSCIワールド・インデックス）と比較して大幅に下回る結果となりました。

【売上高100万ドルあたりの二酸化炭素排出量】




※基準日時点のTrucostのデータを基に、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントが当ファンドおよび当該指数構成銘柄で加重平均したもの。
※Trucostは、カーボン排出原単位を、企業の投資額あるいは売上高100万ドルあたりの二酸化炭素排出量（スコープ１：燃料燃焼による直接排出量およびスコープ２：他社から供給された電気・熱等の仕様による間接排出量）と定義。

＜使用した指数の著作権等について＞

MSCIワールド・インデックスは、MSCI社が開発した指数です。同指数に対する著作権利、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（出所） モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント

②特定銘柄の除外

2024年12月末時点のポートフォリオは、二酸化炭素排出量について一定の基準に満たない銘柄や、ESGの観点から問題があるとみなす特定のセクターや業種に属する銘柄への投資を行なっておりません。

③投資先企業へのエンゲージメント事例

投資先企業に対するエンゲージメントの事例の紹介になります。

☆アクセンチュア（アイルランド）

・事業内容

アクセンチュアは、1989年に創業された世界最大級のコンサルティング会社です。120ヵ国以上の国々に顧客を有しており、様々な分野・産業に対し戦略、業務、IT、デジタル広告などのあらゆるコンサルティングを提供しています。

・エンゲージメント活動＜役員報酬＞

“課題”

長期投資家として、投資先企業が長期的な視点に基づく判断を奨励するような報酬計画を策定することを望んでいます。当運用チームは、独自のPay X-rayスコアリング手法を使用して、報酬体系を改善させるために取締役会に対するエンゲージメントを行なっています。同社の報酬支払い計画は長期インセンティブ計画の20%が業績に連動していなかったこと、報酬の権利確定期間が短いことなどが課題でした。

“行動”

MSIMは2022年に同社の報酬支払い計画に反対票を投じました。その後2023年の年次総会の前に同計画について懸念を表明し、長期インセンティブ計画の業績との連動、報酬の権利確定期間の長期化など改善を提案しました。同年の年次総会において再び反対票を投じました。

“成果”

報酬支払い計画に対する反対票は全体の57%に上ったため、同議案は否決されました。結果として、同社はMSIMと同議案について議論するために2023年７－９月期に会合を設定しました。

（出所） モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント

## ○スチュワードシップ活動

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドは、議決権行使やエンゲージメントを通じて、投資先企業の持続可能な成長を促します。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドのスチュワードシップ活動の詳細は、以下のサイト（「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」）内、「外部委託ファンドのスチュワードシップ方針/スチュワードシップ活動」にある「モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド」の「スチュワードシップの活動はこちら」より、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。

https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/strategy/esglineup.html#esglineup4

## ◎今後の運用方針

**[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド]**

当ファンドは、強力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を持続的に拡大することが期待される銘柄（＝高クオリティ企業）に集中投資を行ないます。高クオリティ企業への投資を行なうために、「ESG（環境・社会・企業統治）インテグレーション※1」「エンゲージメント※2・議決権行使」を運用プロセスに組み入れています。さらに、「ネガティブ・スクリーニング※3」を加え、よりESG問題に配慮しつつ優れたパフォーマンス獲得を目指して、運用を行なっております。

※1　投資判断の中に、財務情報だけではなく、ESG情報といった非財務情報を織り込むこと。
※2　企業価値の持続的な成長の促進や企業価値を持続的に成長できるか判断するために、企業が抱える課題やその対策方法について、経営陣や社外取締役と建設的な対話を行なうこと。
※3　特定のセクターを除外すること。

運用チームはこれまで同様に、反復的な売上と価格決定力の源泉となる無形資産を保有し、高水準の投下資本利益率を維持できる企業への集中投資を行ないます。ブランド、ネットワーク効果、必要不可欠な製品・サービスといった「無形資産」による価格決定力があれば、コスト上昇を顧客に転嫁することができます。習慣的な購買行動やサブスクリプション（定期的に料金を支払い利用するコンテンツやサービス）などによる反復的な売上があれば、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。

保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーション（投資価値評価）は株式市場対比で妥当な水準にあります。不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるクオリティ企業に投資することは理にかなっていると考えます。

**[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジなし）]**

主要投資対象である[モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド]受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## ○１万口当たりの費用明細

（2024年３月７日～2025年３月６日）

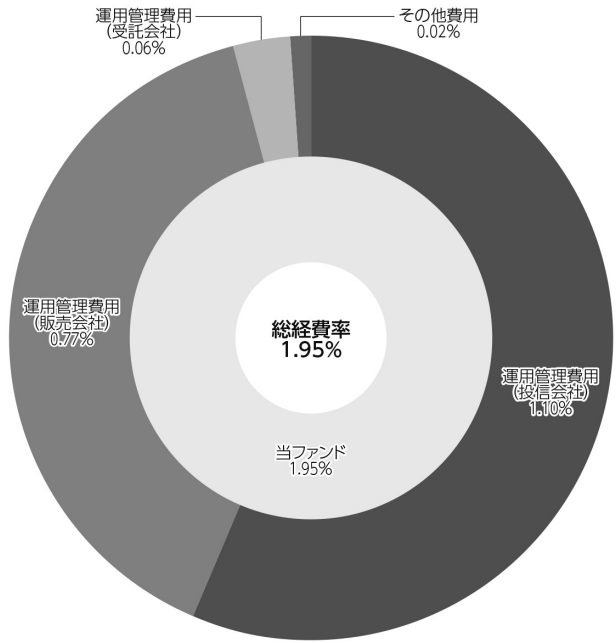
| 項目 | 当期 金額 | 当期 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 円 | % | |
| (a) 信託報酬 | 385 | 1.925 | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （投信会社） | (220) | (1.100) | ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 |
| （販売会社） | (154) | (0.770) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 |
| （受託会社） | ( 11) | (0.055) | ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等 |
| (b) 売買委託手数料 | 2 | 0.009 | (b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （株式） | ( 2) | (0.009) | |
| (c) 有価証券取引税 | 4 | 0.021 | (c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数<br>※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （株式） | ( 4) | (0.021) | |
| (d) その他費用 | 3 | 0.015 | (d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | ( 2) | (0.012) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （監査費用） | ( 1) | (0.003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （その他） | ( 0) | (0.000) | 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合計 | 394 | 1.970 | |
| 期中の平均基準価額は、19,982円です。 | | | |

＊期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
＊売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
＊各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

**（参考情報）**

**〇総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95％です。




（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注）当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2024年３月７日～2025年３月６日）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘柄 | 設定 | | 解約 | |
|---|---|---|---|---|
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド | 491,856 | 1,101,400 | 1,960,329 | 4,451,600 |

＊単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

（2024年３月７日～2025年３月６日）

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| | モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド |
| (a) 期中の株式売買金額 | 25,229,244千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 28,851,456千円 |
| (c) 売買高比率 (a) ／ (b) | 0.87 |

＊(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

（2024年３月７日～2025年３月６日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2025年３月６日現在）

### 親投資信託残高

| 銘柄 | 期首(前期末) | 当期末 | |
|---|---|---|---|
| | 口数 | 口数 | 評価額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド | 9,894,062 | 8,425,589 | 20,211,303 |

＊口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

（2025年３月６日現在）

| 項目 | 当期末 | |
|---|---|---|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド | 20,211,303 | 96.7 |
| コール・ローン等、その他 | 697,256 | 3.3 |
| 投資信託財産総額 | 20,908,559 | 100.0 |

＊金額の単位未満は切り捨て。
＊モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（27,744,255千円）の投資信託財産総額（28,024,740千円）に対する比率は99.0％です。
＊外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=149.25円、1カナダドル=104.01円、1英ポンド=192.52円、1スウェーデンクローナ=14.65円、1ユーロ=161.22円、1香港ドル=19.20円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2025年３月６日現在）

| 項目 | 当期末 |
|---|---|
| | 円 |
| (A) 資産 | 20,908,559,981 |
| コール・ローン等 | 215,653,733 |
| モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド(評価額) | 20,211,303,365 |
| 未収入金 | 481,600,000 |
| 未収利息 | 2,883 |
| (B) 負債 | 467,821,835 |
| 未払収益分配金 | 249,786,911 |
| 未払解約金 | 19,564,403 |
| 未払信託報酬 | 198,124,345 |
| その他未払費用 | 346,176 |
| (C) 純資産総額（Ａ－Ｂ） | 20,440,738,146 |
| 元本 | 9,991,476,448 |
| 次期繰越損益金 | 10,449,261,698 |
| (D) 受益権総口数 | 9,991,476,448口 |
| １万口当たり基準価額（Ｃ／Ｄ） | 20,458円 |

（注）期首元本額は11,343,277,725円、期中追加設定元本額は775,126,662円、期中一部解約元本額は2,126,927,939円、１口当たり純資産額は2.0458円です。
（注）投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額193,029,478円。(モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド)

## ○損益の状況

（2024年３月７日～2025年３月６日）

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 425,004 |
| 受取利息 | 425,835 |
| 支払利息 | △ 831 |
| (B) 有価証券売買損益 | 2,326,604,776 |
| 売買益 | 2,564,157,747 |
| 売買損 | △ 237,552,971 |
| (C) 信託報酬等 | △ 399,604,853 |
| (D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ） | 1,927,424,927 |
| (E) 前期繰越損益金 | 5,333,736,402 |
| (F) 追加信託差損益金 | 3,437,887,280 |
| （配当等相当額） | ( 1,272,789,837) |
| （売買損益相当額） | ( 2,165,097,443) |
| (G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ） | 10,699,048,609 |
| (H) 収益分配金 | △ 249,786,911 |
| 次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ） | 10,449,261,698 |
| 追加信託差損益金 | 3,437,887,280 |
| （配当等相当額） | ( 1,274,385,621) |
| （売買損益相当額） | ( 2,163,501,659) |
| 分配準備積立金 | 7,011,374,418 |

＊損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
＊損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
＊損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2024年３月７日～2025年３月６日）は以下の通りです。

| 項目 | 当期<br>2024年３月７日～<br>2025年３月６日 |
|---|---|
| a. 配当等収益(経費控除後) | 205,158,578円 |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後) | 1,722,266,349円 |
| c. 信託約款に定める収益調整金 | 3,437,887,280円 |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金 | 5,333,736,402円 |
| e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d) | 10,699,048,609円 |
| f. 分配対象収益(１万口当たり) | 10,708円 |
| g. 分配金 | 249,786,911円 |
| h. 分配金(１万口当たり) | 250円 |

## ○分配金のお知らせ

| | |
|---|---|
| １万口当たり分配金（税込み） | 250円 |

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「http://www.nomura-am.co.jp/」から「https://www.nomura-am.co.jp/」に変更する所要の約款変更を行ないました。　＜変更適用日：2024年７月４日＞

2024年11月５日より、ファンドの設定解約の申込締切時間を以下の記載のとおり変更いたしました。

原則、午後３時30分までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
（販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。）

# モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略マザーファンド

## 運用報告書

第５期（決算日2025年３月６日）

作成対象期間（2024年３月７日～2025年３月６日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|---|---|
| 運用方針 | 世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。<br>組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG※の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。<br>※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。<br>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。 |
| 主な投資対象 | 世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。 |
| 主な投資制限 | 株式への投資割合には制限を設けません。<br>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |

**野村アセットマネジメント株式会社**
東京都江東区豊洲二丁目２番１号
**https://www.nomura-am.co.jp/**

## ○設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 純資産総額 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 期中騰落率 | | | |
| (設定日) | 円 | % | % | % | 百万円 |
| 2020年２月28日 | 10,000 | － | － | － | 2,959 |
| １期(2021年３月８日) | 12,445 | 24.5 | 97.7 | － | 24,990 |
| ２期(2022年３月７日) | 14,110 | 13.4 | 99.0 | － | 34,271 |
| ３期(2023年３月６日) | 15,495 | 9.8 | 97.0 | － | 30,349 |
| ４期(2024年３月６日) | 21,231 | 37.0 | 98.2 | － | 31,451 |
| ５期(2025年３月６日) | 23,988 | 13.0 | 97.1 | － | 27,351 |

＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
＊当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

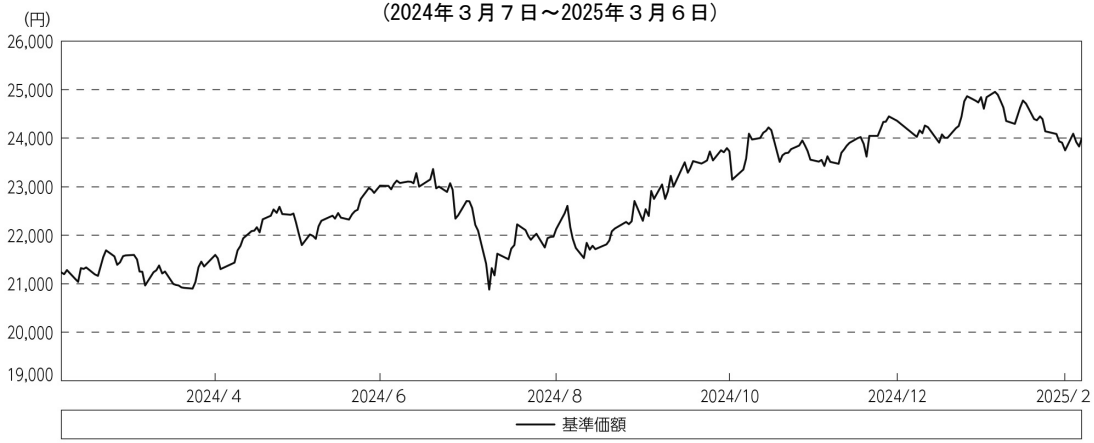
| 年月日 | 基準価額 | | 株式組入比率 | 株式先物比率 |
|---|---|---|---|---|
| | | 騰落率 | | |
| (期　首) | 円 | % | % | % |
| 2024年３月６日 | 21,231 | － | 98.2 | － |
| ３月末 | 21,584 | 1.7 | 97.5 | － |
| ４月末 | 21,592 | 1.7 | 97.1 | － |
| ５月末 | 21,796 | 2.7 | 96.7 | － |
| ６月末 | 23,018 | 8.4 | 97.4 | － |
| ７月末 | 22,561 | 6.3 | 97.2 | － |
| ８月末 | 22,133 | 4.2 | 97.4 | － |
| ９月末 | 22,300 | 5.0 | 97.5 | － |
| 10月末 | 23,734 | 11.8 | 97.4 | － |
| 11月末 | 23,560 | 11.0 | 98.1 | － |
| 12月末 | 24,361 | 14.7 | 97.7 | － |
| 2025年１月末 | 24,843 | 17.0 | 98.0 | － |
| ２月末 | 23,748 | 11.9 | 96.9 | － |
| (期　末) | | | | |
| 2025年３月６日 | 23,988 | 13.0 | 97.1 | － |

＊騰落率は期首比です。
＊株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移

【基準価額等の推移】
（2024年３月７日～2025年３月６日）




### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首21,231円から期末23,988円となりました。

（上昇）

・2024年11月、トランプ前大統領の再選により規制緩和によるM＆A（企業の合併・買収）の活発化や減税の恒久化に対する期待や、財務長官に経済成長を重視するベッセント氏を指名したことが好感されたことなど。

（下落）

・2024年４月、FOMC（米連邦公開市場委員会）メンバーであるリッチモンド連銀のバーキン総裁がインフレ抑制に関して時間をかけて対応することが賢明だと述べたことにより早期の利下げ期待が後退したことや、中国当局が国内の主要通信事業者に対して外国製半導体の使用を段階的に排除するよう指示していたとの報道などが嫌気されたことなど。

## ○投資環境

期中の世界株式市場は、インフレ動向や各国の金融政策の行方などに左右される展開となる中で、上昇しました。

為替市場では、円は米ドルに対して上昇（円高）、ユーロに対しても上昇（円高）となりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

**・株式組入比率**

期を通じておおむね高位を維持しました。

**・期中の主な動き**

（１）組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG※の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。

※ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。

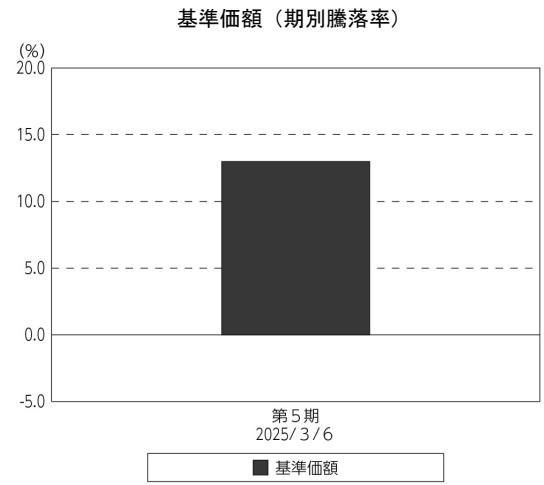
（２）ポートフォリオの構築にあたっては、時価総額および流動性が高い大型銘柄を中心とすることを基本とします。

（３）期中の主な売買としては、米国のデリバティブ取引所運営会社の株式などを新規に組み入れ、英国の家庭用品・医薬品メーカーの株式などを全売却しました。また、美容用品の製造・販売を手掛けるフランスの企業の株式などを買い増しし、カナダのソフトウエア持株会社の株式などを一部売却しました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。




## ◎今後の運用方針

当ファンドは、強力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を持続的に拡大することが期待される銘柄（＝高クオリティ企業）に集中投資を行ないます。高クオリティ企業への投資を行なうために、「ESG（環境・社会・企業統治）インテグレーション※１」「エンゲージメント※２・議決権行使」を運用プロセスに組み入れています。さらに、「ネガティブ・スクリーニング※３」を加え、よりESG問題に配慮しつつ優れたパフォーマンス獲得を目指して、運用を行なっております。

※１投資判断の中に、財務情報だけではなく、ESG情報といった非財務情報を織り込むこと。
※２企業価値の持続的な成長の促進や企業価値を持続的に成長できるか判断するために、企業が抱える課題やその対策方法について、経営陣や社外取締役と建設的な対話を行なうこと。
※３特定のセクターを除外すること。

運用チームはこれまで同様に、反復的な売上と価格決定力の源泉となる無形資産を保有し、高水準の投下資本利益率を維持できる企業への集中投資を行ないます。ブランド、ネットワーク効果、必要不可欠な製品・サービスといった「無形資産」による価格決定力があれば、コスト上昇を顧客に転嫁することができます。習慣的な購買行動やサブスクリプション（定期的に料金を支払い利用するコンテンツやサービス）などによる反復的な売上があれば、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。

保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーション（投資価値評価）は株式市場対比で妥当な水準にあります。不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるクオリティ企業に投資することは理にかなっていると考えます。

## ○１万口当たりの費用明細

（2024年３月７日～2025年３月６日）

| 項目 | 当期 金額 | 当期 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 円 | % | |
| (a) 売買委託手数料 | 2 | 0.009 | (a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （株式） | ( 2) | (0.009) | |
| (b) 有価証券取引税 | 5 | 0.022 | (b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数<br>※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （株式） | ( 5) | (0.022) | |
| (c) その他費用 | 3 | 0.012 | (c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | ( 3) | (0.012) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （その他） | ( 0) | (0.000) | 信託事務の処理に要するその他の諸費用 |
| 合計 | 10 | 0.043 | |
| 期中の平均基準価額は、22,935円です。 | | | |

＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
＊各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

（2024年３月７日～2025年３月６日）

### 株式

| | | 買付 | | 売付 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 株数 | 金額 | 株数 | 金額 |
| | | 百株 | 千米ドル | 百株 | 千米ドル |
| 外国 | アメリカ | 1,890 | 41,868 | 3,577 | 74,949 |
| | | 千カナダドル | | 千カナダドル | |
| | カナダ | 0.59 | 247 | 14 | 6,229 |
| | | 千英ポンド | | 千英ポンド | |
| | イギリス | 9,715 | 3,473 | 4,183 | 8,051 |
| | | 千スウェーデンクローナ | | 千スウェーデンクローナ | |
| | スウェーデン | － | － | 1,648 | 31,051 |
| | ユーロ | | 千ユーロ | | 千ユーロ |
| | ドイツ | 21 | 414 | 475 | 9,861 |
| | フランス | 147 | 5,359 | 33 | 1,249 |
| | オランダ | 213 | 4,763 | 750 | 2,049 |
| | | 千香港ドル | | 千香港ドル | |
| | 香港 | 404 | 2,546 | 1,702 | 9,646 |

＊金額は受け渡し代金。
＊単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ○株式売買比率

（2024年３月７日～2025年３月６日）

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| (a) 期中の株式売買金額 | 25,229,244千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 28,851,456千円 |
| (c) 売買高比率 (a) ／ (b) | 0.87 |

＊(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

（2024年３月７日～2025年３月６日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年３月６日現在)

### 外国株式

| 銘柄 | | 期首(前期末) | 当期末 | | | 業種等 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 株数 | 株数 | 評価額 | | |
| | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| (アメリカ) | | 百株 | 百株 | 千米ドル | 千円 | |
| ABBOTT LABORATORIES | | 518 | 328 | 4,520 | 674,618 | ヘルスケア機器・用品 |
| ALPHABET INC-CL A | | 428 | 310 | 5,370 | 801,604 | インタラクティブ・メディアおよびサービス |
| AMPHENOL CORP-CL A | | 241 | — | — | — | 電子装置・機器・部品 |
| AUTOMATIC DATA PROCESS | | 193 | 135 | 4,193 | 625,894 | 専門サービス |
| AUTOZONE | | — | 8 | 3,086 | 460,660 | 専門小売り |
| BECTON,DICKINSON | | 266 | 204 | 4,573 | 682,645 | ヘルスケア機器・用品 |
| BOOKING HOLDINGS INC | | — | 9 | 4,661 | 695,766 | ホテル・レストラン・レジャー |
| BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS INC | | 168 | 128 | 3,117 | 465,315 | 専門サービス |
| CDW CORPORATION | | 155 | 108 | 1,874 | 279,743 | 電子装置・機器・部品 |
| CME GROUP INC | | — | 216 | 5,518 | 823,696 | 資本市場 |
| COCA COLA CO | | 933 | 749 | 5,251 | 783,809 | 飲料 |
| DANAHER CORP | | 190 | — | — | — | ライフサイエンス・ツール/サービス |
| EQUIFAX INC | | 158 | 77 | 1,892 | 282,382 | 専門サービス |
| FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC | | 27 | 38 | 1,732 | 258,536 | 資本市場 |
| ARTHUR J GALLAGHER & CO | | 160 | 159 | 5,435 | 811,314 | 保険 |
| JACK HENRY & ASSOCIATES INC | | 65 | 106 | 1,891 | 282,239 | 金融サービス |
| HOLOGIC INC | | — | 353 | 2,193 | 327,347 | ヘルスケア機器・用品 |
| INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC | | 566 | 336 | 5,781 | 862,818 | 資本市場 |
| IQVIA HOLDINGS INC | | 282 | 139 | 2,585 | 385,948 | ライフサイエンス・ツール/サービス |
| MICROSOFT CORP | | 331 | 243 | 9,745 | 1,454,469 | ソフトウェア |
| MOODYS CORP | | 45 | — | — | — | 資本市場 |
| NIKE INC-B | | 89 | — | — | — | 繊維・アパレル・贅沢品 |
| ORACLE CORPORATION | | — | 143 | 2,311 | 344,982 | ソフトウェア |
| OTIS WORLDWIDE CORP | | 334 | 297 | 3,017 | 450,299 | 機械 |
| REVVITY INC | | 242 | 279 | 3,121 | 465,819 | ライフサイエンス・ツール/サービス |
| PROCTER & GAMBLE CO | | 386 | 380 | 6,648 | 992,281 | 家庭用品 |
| ROPER TECHNOLOGIES INC | | 81 | 75 | 4,473 | 667,709 | ソフトウェア |
| S&P GLOBAL INC | | — | 34 | 1,796 | 268,077 | 資本市場 |
| TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR | | 384 | 212 | 3,918 | 584,895 | 半導体・半導体製造装置 |
| TEXAS INSTRUMENTS INC | | 299 | 179 | 3,501 | 522,625 | 半導体・半導体製造装置 |
| THERMO FISHER SCIENTIFIC INC | | 126 | 91 | 4,820 | 719,452 | ライフサイエンス・ツール/サービス |
| UNITEDHEALTH GROUP INC | | 96 | 98 | 4,686 | 699,459 | ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス |
| VERALTO CORP | | 92 | — | — | — | 商業サービス・用品 |
| VISA INC-CLASS A SHARES | | 391 | 288 | 10,178 | 1,519,170 | 金融サービス |
| ZOETIS INC | | 87 | 83 | 1,391 | 207,722 | 医薬品 |
| AON PLC | | 209 | 175 | 7,095 | 1,058,938 | 保険 |
| ACCENTURE PLC-CL A | | 281 | 168 | 5,884 | 878,268 | 情報技術サービス |
| STERIS PLC | | 109 | 97 | 2,215 | 330,647 | ヘルスケア機器・用品 |
| 小計 | 株数・金額 | 7,946 | 6,260 | 138,486 | 20,669,162 | |
| | 銘柄数<比率> | 32 | 33 | — | <75.6%> | |
| (カナダ) | | | | 千カナダドル | | |
| CONSTELLATION SOFTWARE INC | | 24 | 10 | 5,303 | 551,588 | ソフトウェア |
| 小計 | 株数・金額 | 24 | 10 | 5,303 | 551,588 | |
| | 銘柄数<比率> | 1 | 1 | — | <2.0%> | |
| (イギリス) | | | | 千英ポンド | | |
| EXPERIAN PLC | | 569 | 358 | 1,322 | 254,521 | 専門サービス |
| RECKITT BENCKISER GROUP PLC | | 869 | — | — | — | 家庭用品 |
| RELX PLC | | 1,573 | 983 | 3,685 | 709,505 | 専門サービス |

| 銘柄 | | 期首(前期末) | 当期末 | | | 業種等 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 株数 | 株数 | 評価額 | | |
| | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | |
| (イギリス) | | 百株 | 百株 | 千英ポンド | 千円 | |
| HALEON PLC | | － | 7,202 | 2,886 | 555,789 | 医薬品 |
| 小計 | 株数・金額 | 3,013 | 8,545 | 7,894 | 1,519,816 | |
| | 銘柄数＜比率＞ | 3 | 3 | － | ＜5.6%＞ | |
| (スウェーデン) | | | | 千スウェーデンクローナ | | |
| ATLAS COPCO AB-A SHS | | 1,648 | － | － | － | 機械 |
| 小計 | 株数・金額 | 1,648 | － | － | － | |
| | 銘柄数＜比率＞ | 1 | － | － | ＜－%＞ | |
| (ユーロ…ドイツ) | | | | 千ユーロ | | |
| SAP SE | | 642 | 368 | 9,753 | 1,572,485 | ソフトウェア |
| DEUTSCHE BOERSE AG | | 180 | － | － | － | 資本市場 |
| 小計 | 株数・金額 | 822 | 368 | 9,753 | 1,572,485 | |
| | 銘柄数＜比率＞ | 2 | 1 | － | ＜5.7%＞ | |
| (ユーロ…フランス) | | | | | | |
| LOREAL-ORD | | 61 | 175 | 6,395 | 1,031,096 | パーソナルケア用品 |
| 小計 | 株数・金額 | 61 | 175 | 6,395 | 1,031,096 | |
| | 銘柄数＜比率＞ | 1 | 1 | － | ＜3.8%＞ | |
| (ユーロ…オランダ) | | | | | | |
| ASML HOLDING NV | | － | 58 | 3,950 | 636,834 | 半導体・半導体製造装置 |
| UNIVERSAL MUSIC GROUP NV | | 595 | － | － | － | 娯楽 |
| 小計 | 株数・金額 | 595 | 58 | 3,950 | 636,834 | |
| | 銘柄数＜比率＞ | 1 | 1 | － | ＜2.3%＞ | |
| ユーロ計 | 株数・金額 | 1,480 | 602 | 20,099 | 3,240,416 | |
| | 銘柄数＜比率＞ | 4 | 3 | － | ＜11.8%＞ | |
| (香港) | | | | 千香港ドル | | |
| AIA GROUP LTD | | 6,172 | 4,874 | 29,804 | 572,246 | 保険 |
| 小計 | 株数・金額 | 6,172 | 4,874 | 29,804 | 572,246 | |
| | 銘柄数＜比率＞ | 1 | 1 | － | ＜2.1%＞ | |
| 合計 | 株数・金額 | 20,285 | 20,293 | － | 26,553,230 | |
| | 銘柄数＜比率＞ | 42 | 41 | － | ＜97.1%＞ | |

＊邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
＊邦貨換算金額欄の＜ ＞内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
＊株数・評価額の単位未満は切り捨て。
＊銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## 外国新株予約権証券

| 銘柄 | | 期首(前期末) | 当期末 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 証券数 | 証券数 | 評価額 | |
| | | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 |
| (カナダ) | | 証券 | 証券 | 千カナダドル | 千円 |
| CONSTELLATION SOFTWARE WARRANT | | 3,413 | 3,413 | － | － |
| 合計 | 証券数・金額 | 3,413 | 3,413 | － | － |
| | 銘柄数＜比率＞ | 1 | 1 | － | ＜－%＞ |

## ○投資信託財産の構成

（2025年３月６日現在）

| 項目 | 当期末 | |
|---|---|---|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| 株式 | 26,553,230 | 94.7 |
| コール・ローン等、その他 | 1,471,510 | 5.3 |
| 投資信託財産総額 | 28,024,740 | 100.0 |

＊金額の単位未満は切り捨て。
＊当期末における外貨建純資産（27,744,255千円）の投資信託財産総額（28,024,740千円）に対する比率は99.0%です。
＊外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=149.25円、1カナダドル=104.01円、1英ポンド=192.52円、1スウェーデンクローナ=14.65円、1ユーロ=161.22円、1香港ドル=19.20円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2025年３月６日現在）

| 項目 | 当期末 |
|---|---|
| | 円 |
| (A) 資産 | 28,666,325,700 |
| コール・ローン等 | 1,338,982,012 |
| 株式(評価額) | 26,553,230,067 |
| 未収入金 | 766,478,425 |
| 未収配当金 | 7,631,447 |
| 未収利息 | 3,749 |
| (B) 負債 | 1,315,301,040 |
| 未払金 | 641,701,040 |
| 未払解約金 | 673,600,000 |
| (C) 純資産総額（A－B） | 27,351,024,660 |
| 元本 | 11,401,894,063 |
| 次期繰越損益金 | 15,949,130,597 |
| (D) 受益権総口数 | 11,401,894,063口 |
| １万口当たり基準価額（C／D） | 23,988円 |

（注）期首元本額は14,813,738,778円、期中追加設定元本額は1,205,841,355円、期中一部解約元本額は4,617,686,070円、１口当たり純資産額は2.3988円です。
（注）当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジなし）
8,425,589,197円
・モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジあり）
2,976,304,866円

## ○損益の状況

（2024年３月７日～2025年３月６日）

| 項目 | 当期 |
|---|---|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 363,327,794 |
| 受取配当金 | 357,369,800 |
| 受取利息 | 5,958,589 |
| その他収益金 | 1,083 |
| 支払利息 | △ 1,678 |
| (B) 有価証券売買損益 | 3,323,604,270 |
| 売買益 | 4,651,081,267 |
| 売買損 | △ 1,327,476,997 |
| (C) 保管費用等 | △ 3,472,259 |
| (D) 当期損益金（A＋B＋C） | 3,683,459,805 |
| (E) 前期繰越損益金 | 16,637,526,077 |
| (F) 追加信託差損益金 | 1,494,558,645 |
| (G) 解約差損益金 | △ 5,866,413,930 |
| (H) 計（D＋E＋F＋G） | 15,949,130,597 |
| 次期繰越損益金（H） | 15,949,130,597 |

＊損益の状況の中で(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
＊損益の状況の中で(F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
＊損益の状況の中で(G)**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「http://www.nomura-am.co.jp/」から「https://www.nomura-am.co.jp/」に変更する所要の約款変更を行ないました。

＜変更適用日：2024年７月４日＞